

## いわき市再生資源協業組合の安全活動

〜〜 はじめに 〜

私たちいわき市再生資源協業組合は、家庭から回収された缶類・ペットボトル、びん類、容器包装プラスチック等の選別を行い、不純物を取り除くことにより、再生資源として供給する業務を行っています。その他、様々な行事や活動を通し、地域の皆様向けのリサイクル啓発に努めています。

〜〜 安全衛生活動の取り組み 〜

当組合では、「安全衛生方針」「安全行動指針」「安全スローガン」、及び安全衛生管理活動計画に基づき6グループの小集団活動を実施し、従業員の労働安全衛生の確保に努め、安全衛生関連の諸法令の順守を徹底しています。従業員一人ひとりが危険を危険と判断できる感受性を高め、人の作業や行動には危険が潜んでいることを認識し、決めたルールを守る風土づくりに力を入れています。



### 1.安全パトロール

安全パトロール実施計画に基づき、安全推進委員会メンバーによる職場安全パトロールを毎週実施しています。月に1度、外部労働安全コンサルタントが同行し、職場に存在する顕在化、或いは潜在化している不安全要素「災害の芽」を確認して改善を行っています。パトロールで指摘された項目は、その日のうちに対策、改善計画を協議し、結果を報告書として提出、提出された報告書は、社内回覧で全従業員に展開しています。また、翌日の朝礼や、詳細については毎月開催される安全懇談会で報告し、情報の共有を行っています。

### 2.ヒヤリハット活動の推進

潜在的なリスクをくみ上げるため、ヒヤリハット活動を積極的に展開しています。「起こるかもしれない」という想定ヒヤリハットの提出も推進しており、危険予知的な活動にもなっています。提出されたヒヤリハットは、安全推進委員が提出された日に内容を確認し、翌日の朝礼で全従業員に報告、また、毎月開催される安全懇談会で協議し、事例の共有、集計、原因分析を行っています。

### 3.指差呼称活動の活性化

危険やエラーが起きやすい所を指差呼称の重点ポイントに定め、日常の作業での指差呼称を徹底しています。指差呼称の必要性和効果を理解してもらい、一人ひとりが自ら実践するように指導しています。

職員同士の「ご安全に!」の声かけも、安全意識を共有するための一環として実施しています。



### 4.危険予知(KY)活動の実施



従業員の労働災害を防止するため、定常作業、非定常作業の開始前に必ず危険予知(KY)活動を行っています。自分の作業内容や設備に対して、事前に危険のポイントを定め確認することで、事故の発生を防いでいます。社内 KY トレーナー及び外部安全コンサルタントの指導により、KYレベル・安全意識レベルの向上を日々図っています。

始業開始前のRA-KYKは、各配置場所に分かれその日の作業内容に沿ったKY活動を展開しています。



### 5.安全懇談会



安全懇談会を全従業員参加で毎月開催しています。懇談会では、安全推進委員がファシリテーターとなり、安全パトロールの結果報告、ヒヤリハット事例に基づいた事故防止対策を協議しています。事例と反省から今後の対策、行動目標を設定し、事故の未然防止、再発防止に努めています。

ブレインストーミングによる自由討議時間を設けることで、従業員同士のコミュニケーションを図り、現状抱えている問題点や改善要望等を全従業員で話し合います。



### 6.技能員勉強会

生産管理や安全業務の遂行に大きく関与する職種「技能員」で、技術の確認、及び事故の未然防止の重要性などをテーマに、毎月自主的に企画して開催しています。この勉強会は、業務に関係する知識やノウハウを共有することが目的です。勉強会の開催は、技能員の学習意欲の向上、自らのスキルの向上に繋がっています。

### 7.安全大会

平成30年10月「平成30年度安全大会」を開催致しました。特別講演では、労働安全コンサルタントによる「ヒューマン・ファクターを考える」、消防職員による「救急知識」をテーマにご講話頂きました。安全表彰では、1年間の安全衛生推進活動で積極的な取り組みが評価されたグループと、職員たちが考えた安全標語の中から優秀作品が選出され表彰されました。優秀作品は本年度の安全スローガンになり、大会最後に、安全衛生方針、安全スローガンのシュプレヒコールを行い、来年の安全大会へ向けて、全員でゼロ達成を誓いました。

### 8.健康増進への取り組み

従業員の心身共に健康であることが、組合の目指す「安全で元気な事業場」の土台と考え、からだの健康と共にごころの健康についても積極的に取り組んでいます。からだの健康増進への取り組みとして、定期健康診断結果から生活習慣病等にかかるリスクが高い従業員を対象に、特定保健指導による健康改善を支援しています。平成30年7月には、保健師による生活習慣病予防の講習会を開催しました。また、ごころの健康増進への取り組みとして、ストレスチェックを行い、平成30年4月には外部カウンセラーによるメンター制度導入講習会を開催し、上司が部下のわずかな異変を察知できるように取り組んでいます。

### 9.元気な職場づくりプロジェクト

職場を円滑にするためには、仕事を通じたコミュニケーションを大切に、元気な職場をつくりあげていく必要があると考え、従業員が毎月スローガンを作成しています。作成されたスローガンは各職場に掲示し、従業員が日々接することで、当組合の衛生活動の礎となっています。

### 10.ブチ・クレド

安全衛生活動では、管理者がリーダーシップを発揮して率先垂範することが最も重要であるという認識のもと、総括責任者をはじめ各部門の管理者が毎週交代で、安全衛生行動宣言(ブチ・クレド)を朝礼時に発表しています。

### 11.リサイクル啓発事業と安全活動のコラボレーション〜未来へ向けた取り組み

いわき市リサイクルプラザ クリンピーの家主催の毎年10月に開催するフェアで、普段は見学できない選別施設の裏側を見ていただく「バックヤードツアー」は、小学生を対象に実施しています。ヘルメットを装着して現場で行う安全活動も一緒に体験してもらいながら、資源の大切さも知っていただく取り組みです。



当組合はこれまでの実績をもとに、安全PDCAサイクルを円滑に回し、安全衛生に対する意識をより高め維持していきます。また、今後も様々な取り組みに挑戦し続け、「事故災害は絶対に起こさない、起こさせない」職場の実現を目指して、安全衛生活動を積極的に行っていきます。

